

柏西ロータリークラブ

創立：1975年11月 7日

承認：1975年11月24日

四つのテスト

1. 真実かどうか？
2. みんなに公平か？
3. 好意と友情を深めるか？
4. みんなのためになるか？



人類に
奉仕する
ロータリー

第1963回合同 (ガバナー公式訪問) 例会 (2016.9.2) 会長：馬場 弘 幹事：水留 茂之

■柏西ロータリークラブURL:<http://kashiwa-nishi-rc.com/>

■第2790地区ロータリークラブURL:<http://www.rid2790.jp/2016/>

1963回合同例会

- 1. 点 鐘 馬場 弘 会長
- 1. 会長挨拶 馬場 弘 会長
- 1. 幹事報告 水留 茂之 幹事
- 1. 卓 話 青木 貞雄 ガバナー
- 1. 点 鐘 馬場 弘 会長

会長挨拶

会長 馬場 弘

本日はガバナー公式訪問日です、沢山の出席ありがとうございます、青木ガバナー様の感謝と挑戦、元気なクラブ作り、仲間の輪の拡大に繋げようを今期のテーマとして、実りある卓話を頂き原点に戻り

自らがロータリアンになってよかったと思
うようなクラブ作りを実践していきます。

ガバナー公式訪問合同例会式次第

- 日時 平成 28 年 9 月 2 日 (金) 点鐘 12:30
場所 ザ・クレストホテル柏
10:30～12:00 ガバナー懇談会 (柏西 RC10:35～ 我孫子 RC11:25～)
ガバナー補佐・補佐幹事、会長・幹事懇談会 (次期会長・幹事出席)
- 例会 司会進行 柏西ロータリークラブ SAA 増谷信一
- 12:30 点鐘 柏西ロータリークラブ会長 馬場 弘
 - 12:31 国歌斉唱
 - 12:33 ロータリーソング斉唱 奉仕の理想
四つのテスト唱和
 - 12:35 お客様の紹介
食事
 - 13:00 会長挨拶 我孫子ロータリークラブ会長 鈴木公三
 - 13:05 幹事報告 我孫子ロータリークラブ幹事 木村隆一
(米山奨学金授与) 柏西ロータリークラブ幹事 水留茂之
 - 13:08 ニコニコの発表
 - 13:10 卓話 国際ロータリー第 2790 地区ガバナー青木貞雄様
 - 13:30 点鐘 柏西ロータリークラブ会長 馬場弘
- 点鐘後、ガバナーとの写真撮影
- 休憩
- 13:40 合同クラブ協議会
開会の言葉 我孫子ロータリークラブ会長 鈴木公三
※コーヒーサービス
我孫子ロータリークラブ 司会 幹事 木村隆一
発表
 - 14:10 質疑応答
 - 14:25 柏西ロータリークラブ 司会 幹事 水留茂之
各テーブルで討論会(ガバナーへの質問事項)
 - 14:55 質疑応答
 - 15:05 ガバナー総評
 - 15:10 閉会の言葉 柏西ロータリークラブ会長 馬場 弘

Rotary



例会日/金曜日 12:30～
例会場/ザ・クレストホテル柏
〒277-0842 柏市末広町14-1
TEL.04-7146-1111 FAX.04-7146-2100

事務所/〒277-0011 柏市東上町7-18
柏商工会議所会館 505
TEL.04-7162-2323 FAX.04-7166-8282
E-mail:kashiwanishi@io.ocn.ne.jp

1.9月のロータリーレートは1ドル=102円

2. ガバナーエレクト事務所開設の案内
 ガバナーエレクト；寺嶋哲生
 次期地区幹事長；神野美明
 所在地；千葉市中央区椿森 3-1-1-301
 執務時間；10：00～16：00

会長挨拶

我孫子ロータリークラブ会長 鈴木 公三

本日は青木ガバナーをお迎えし、ガバナー公式訪問をこの場所で行えますことを感謝いたします。又、ガバナー公式訪問の機会、柏クラブさんとは初めての合同例会であります。場所の設定様々な御準備をいただきこの場を借りまして、感謝とお礼を申し上げます。

さて、ジョン・F／ジャーム氏の今年度のテーマ「人類に奉仕するロータリー」の名の下、私たちの年度は7月からスタートいたしました。ここに集うお一人お一人は生まれた場所、育った環境も違い、互いに違うひとり一人が縁あってロータリークラブという組織で出会いを与えられました。ひとりの人間として、又ロータリアンとしてどう生きていけばいいのか？こういうお話があります。昔の話ですが、今のようにGPSとかナビゲーターとかのない時代の事です。横浜港の見える高台のとある場所から海外に向けて出港する船が見えます。

その船は出発する前に湾の中を一回、又もう一回と数度ぐるぐる周るのです。何をしているのか、当時の唯一の水先案内人である羅針盤が正しく作動しているかどうかを確かめているのです。その後正しく迷わない旅へと船出するのです。

私たち、ロータリアンもその目指す目的地に迷わず辿りつく必要があるのです。そのためには私たちの正しい心の羅針盤が必要なのではないのでしょうか。ロータリーライフは人生の目的がなんであるかを尋ね求め、それを発見し、且つ実践する旅なのだ、とも思うのです

本日はこうして青木ガバナーをお迎えし、ロータリーを通して知り得た親しい友と共に、ロータリークラブ中核を形成する奉仕の理想に向かう正しい行き先をまなぶひとときとなりますようお願いのり、挨拶に代えさせていただきます。

卓 話

国際ロータリー第2790地区ガバナー 青木 貞雄



国際ロータリー第2790地区2016-17年度ガバナーを拝命しました成田コスモポリタンRCの青木です。

Germ RI会長より、各クラブの状況把握、及び支援はガバナー補佐の務めであり、ガバナー公式訪問は、切磋琢磨するための複数クラブ間情報交換の場とするよう指示があったため、本年度は、3クラブが6ヶ所、本日を含め2クラブが18ヶ所で54クラブが合同、残り29クラブは単独で、7月27日から11月下旬の間に83クラブを53回に分けて公式訪問させていただく予定で、本日は15回目（24・25番目のクラブ）です。

ご案内の通り、昨年度までの当地区クラブ数は84でしたが、富津RCが6月末で解散し

たため、今期は83クラブでスタートです。

尚、活動計画書に掲載した私の挨拶文の中の「4. 複数クラブ合同ガバナー公式訪問」に記載されている訪問回数が間違っています。

ますので、訂正をお願いします。

また、私が所属する成田CRCは、地区出向経験者も少ないDomesticなクラブのため、公式訪問の機会を生かして各クラブの活動を体験させていただくべく、毎回2人の会員が私に同行しています。本日は、萩原、及び地区幹事長の藤崎が陪席させていただきますので、宜しくお願いします。

本日の我孫子、及び柏西RCは、いずれも柏RCを親クラブとして設立され、我孫子RCが51年、柏西RCが41年の長い歴史を持っていますが、地域特性があるのか、我孫子RCは会員が最盛期の63名から現在で22名に減少しているのに対し、柏西RCは63名で高水準を維持しています。また、柏西RCは、2010-11年度に中村ガバナーを輩出すると共に、毎年のように地区委員会委員長・委員等を出向させ、地区運営にご協力いただいております。この違いの背景は何か、また、例会出席率、奉仕活動への取組み、クラブ運営等の面でも両クラブの取組みに相違がみられるため、これらについては、両クラブの考え方、取組み姿勢等について、後ほどのクラブ協議会で、意見交換をさせていただきたいと考えています。

さて、本日は、まずRIのテーマ・方針、及び地区の行動指針・運営方針について、そして、2番目にロータリーの変化と対応という2つのテーマについて話をします。

John F. Germ 本年度RI会長は、

1. ロータリーに誘われた時点で、私達は、素晴らしい仲間と

出会い、そして、人のために役立つことをする大きな機会を与えられる。世界には、多くの課題、助けを求めている人がいるが、我々に与えられた機会を生かすか否かは、我々一人ひとりの行動にかかっている。

そして、我々は様々な分野から集った熱心で有能な職業人の集団であり、世界を変える力、ネットワーク、及び知識の結集がある。

2. 我々は、ポリオ撲滅に取り組んでいるが、ロータリーとは何か、そして何に取り組んでいるかを地域に広め、資金援助者を含めた仲間、会員を増やすことが重要で、仲間が

増えれば、我々はより大きな目標を達成することが出来る。

3. 単に会員を増やすのではなく、奉仕活動に取り組み、新会員を暖かく迎え入れ、4つのテストを真に実践できる会員、リーダー、クラブが必要だ

4. P. ハリスがロータリーを創設した目的「価値観を分かち合える人を見つける」は

現在も生きている。大切なのは、誠実さ、多様性、寛容、友情、平和を重んじ、人類への奉仕が人生最大の目的と信ずることだ。

5. ロータリアンは平等で、私たちはチームの一員だ。皆で協力して多くの人の人生を良いものにしよう。

と述べた上で、私は、ポール ハリスと同様、人生最大の目的は人類に奉仕することと信じ、2016-17年度のテーマを「Rotary Serving Humanity=人類に奉仕するロータリー」としました。

そして、対外的には、今やパキスタンとアフガニスタンの2ヶ国となった「ポリオの完全撲滅」、内部に向けては、より大きな目標を達成するための「会員増強」を重点取り組み事項とすると共に、ロータリー戦略計画に基づき、

- a) クラブのサポート強化
 - b) 人道的支援の重点化と増加
 - c) 公共イメージと認知度の向上
- に努めるよう私たちに求めました。

私は、志を同じくする集団は、その目的追及び活発な活動の展開に仲間の拡大が欠かせないと考えます。ただ人数が多ければ良いという話ではありませんが、ロータリーも同じで、会員が多ければ多いほど、私たちは素晴らしい仲間と出会う機会が増えます。また、奉仕活動を含めた種々の活動を活発に展開できます。そして、結果的に地域における知名度が高まり、新しい仲間の輪の拡大に繋がると思います。

「ロータリーとは何ですか?」、また「ロータリーは何をやっている団体ですか?」と聞かれて答に窮する会員も多いと思います。私は、「自らの職業を通じ(倫理観は大前提)、また出来る範囲で周りの人の役に立つことをする心がけを持つと共に、価値観を分かち合う仲間とのFellowship、即ち友好関係を通じて自らを高める人の集まり」と答えます。

従って、既にロータリアンとなって素晴らしい仲間との出会いを、そして他の人のために役に立つことが出来る機会を与えられている私達は、ロータリーに対して感謝の気持ちを持つと共に、この感謝の気持ちを分かち合う仲間の拡大に挑戦すべきと考え、地区行動指針を「感謝と挑戦」としました。言い換えれば、皆さんが、ロータリアンであることに感謝の念を持つことが出来るような活動を展開していくことが重要です。

東京のあるRCが、先日、東日本大震災で被災した福島の前

学校の生徒・先生をハワイに招待しました。依頼を受けて、私が出発に先立つ成田空港でのお手伝いを arrange したことから、帰国後、ハワイのロータリアン及び盲学校生と交流した時の参加者が感激した姿を見てロータリアンになって良かったとの感想を付したお礼の mail を頂戴しました。

このように、ロータリアンになって良かった思うことが出来る活動を一生懸命追及することが、ロータリーにとってだけではなく、ロータリアン本人にとって大事だと思います。

さて、当地区会員数は、1995年4月の4,378人を peak に減少しましたが、2012年6月末の2,689人で底を打ち、その後わずかながら増加に転じ、至近の本年6月末は2,739人でした。しかし、地域特性もあってか2極化が進んでおり、会員数は最大のクラブが80名に対し最少は5名です。

50名を超える大きなクラブが14、40名台のクラブが9あると共に、30名台のクラブが20で、これらを足すと43クラブとなり、全体の5割強です。

他方、残り40クラブが会員29名以下で、そのうち13クラブは会員が19名以下です。

3年前、私が地区クラブ奉仕委員長兼会員増強委員長を拝命した折、委員の皆さんとアンケート調査等を行い、会員増強について色々研究した結果は以下の通りでした。

1) 会員減少期でさえ、当地区では毎年約200名超の新入会員が誕生していました。問題は、入会者と同数、あるいはそれ以上の会員が退会したことです。尚、このような知見に基づき、私が会員増強委員長を務めた翌年から地区の組織が、「会員増強・退会防止委員会」に改称しました。

2) 後任が来る大手企業の社員の職場間異動を別にする、退会者の多くは、高齢者、

及び入会5年未満、特に入会2~3年の会員でした。

3) 会員歴5年未満の会員が退会する背景には、例会出席等の活動参加に時間的余裕がない、ロータリアンになったが活動に魅力がない・奉仕活動への取組みが少ない、幹部と意見が合わない等がみられました。会員増強に関する他地区の資料では、入会理由として職業上の繋がりが大多数で、退会理由としては、仲間意識の薄れ、親睦活動に魅力が無い等が多く見られました。

尚、これは避けて通ることが難しい問題ですが、日本の会員数増減はGDPの変化に呼応しているという見方もあります。

この様な状況を勘案すると、我々がまず取り組むべきは、会員がロータリアンになって良かったと思うような活動をクラブが追求することによって退会者を減らすことです。

具体的には、出席したくなる例会、参加したくなる親睦・奉仕活動の展開、及びロータリーを理解し、かつロータリー活動に対する関心を深める研修の強化です。

私が学校を卒業して企業に勤め始めた約50年前、職場では、部長は元より、課長の顔を見ることもまれでしたが、1990年代に入って産業のGlobalization、即ち国際化が進むと、企業間競争が激化し、大手企業でも今や課長・部長は元より、取締役も率先して仕事に直接携わらざるを得ない状況、言い換えれば職位があがるほどに仕事が厳しくなり、中には、社長も大部屋で一般社員と一緒に仕事をする大企業も出てきました。ロータリーの根幹は職業奉仕であり、自らの職業をしっかりと務めることが第1です。従って、気

ぜひ現在の世の中で貴重な時間をロータリー活動に割くには、私達は、今まで以上に魅力ある活動を展開しなければ会員の維持、また新規会員の勧誘は難しいと思います。

ロータリーは単年度主義と言いますが、これは会長、ガバナー等の任期で、会員は毎年変わりません。従って、運営は継続性を以て行われる必要があり、仲間の拡大に繋がる元気なクラブ作り、研修を通じた会員歴の短い会員の育成等は、継続的取り組みをもって対応する必要があります。

会員増強と言うと、「質か量か」の議論が先行し、行動が伴わないケースがよく見られます。クラブの中には、会員が少なくても、会員歴の長い会員を中心に模範的な活動を展開しているクラブもありますが、会員の加齢は避けて通ることが出来ず、このようなクラブは、新入会員、特に若年新入会員の勧誘に力を入れる必要があります。

ロータリー活動の経験が浅い私ですが、最近数年に地区委員、ガバナー補佐等を体験し、ロータリー活動・歴史等についての知識が豊富で、研究を常に怠らない会員と知合うことが出来ました。その結果、私は、斯かる仲間から色々教を受けています。ロータリーには、ロータリー活動についての識見に富んだ会員も必要ですが、多くの会員にこのような活動を望むのは難しいと思うと共に、全員がこのような会員である必要は無いと思います。それよりも、例会に出席し、お互いに意見を交わし、知らないことを学んで成長していくことが大事です。

111年の歴史を通じて変化してきたロータリーには、こうでなくではいけない、あるいはこうあるべきだと言う絶対はなく、それより多様性が重んじられると共に、理念を求めるよりも実践・行動が重んじられています。ロータリーには、落ちているゴミを拾うより、ゴミを捨てない人を育成しようとの言い伝えがありますが、私たちは、日々、道に落ちているゴミを拾う、また、仲間に声をかける等、何でも良いから、一日一善、人の役には立つことをしようではありませんか。

従って、Germ 国際ロータリー会長の言にもある通り、4つのテスト、ロータリーの目的、あるいはロータリアンの行動規範が実践できる人、また実践しようとする人であれば、誰でもロータリアンになる資質を備えているのではないのでしょうか。大事なことは、ロータリーに加入した新会員と私たちが一緒に学ぶ謙虚さを持つと共に、知らないことを教え合い、次の時代のリーダーを育てていくことです。

このため、今年度は、会員歴が短い多くの会員の研修強化を図れるよう、地区主催ではなく、約10年前まで行われていた分區別会員歴5年未満会員研修を復活させると同時に、結果として、ここ2年は秋の行事となったIM開催を年明けに戻しました。

もう1つ忘れていけないことは、創立25、30年を迎えたクラブの中に会員減少が顕著なクラブが見られることで、クラブ運営は常に課題を見つけ、その解決に一生懸命取り組んで、この時期を乗り切ることが重要です。

私は、会員増強と言わず、あえて仲間の拡大と言いますが、全てのクラブが元気なクラブとして充実した活動を追求し、志を同じくする仲間の輪の拡大に繋げていただくよう、今年度ガバナー月信最終頁で元気なクラブ紹介をしています。皆さんには、是非、他

のクラブの模範となるような元気なクラブ活動をガバナー月信で披露していただくようお願いします。

RI会長は、会員51名以上のクラブに2名以上、50名以下は少なくとも1名の会員純増目標達成を我々に求めています。皆さんには、会員数回復に向け、この目標以上の会員純増を是非実現していただくよう、そして同時に、①来年のR財団100周年に向けて、例えば地域の奉仕プロジェクトにR財団100周年記念事業の冠をつけていただくこと、また、②ここ2年続いている地区としてのR財団寄付ゼロクラブの継続協力依頼、出来れば上期の寄付納入、そして、③情報システム化が進む国際ロータリーにaccessするためのMy Rotary登録推進等をお願いします。

さて、本日の卓話の2番目のテーマは、変化するロータリーと、私たちの対応です。

今年1月、ガバナーになるため受講が必須の国際協議会に参加した折、来年6月に米国ジョージア州アトランタで開催される国際協議会のスポンサーにコココーラ社が指名されたとの発表があると同時に、コココーラの文字とロータリーのロゴマークが印刷された赤いセロファンで包まれたコココーラのびんが晩餐会の席に提供されたことに、私は、ロータリーもこんなことをするのかと驚かされました。

本年4月の規定審議会では、標準ロータリークラブ定款の近來稀な大幅改定が行われました。しかし、その多くは、義務ではなく、各クラブの裁量範囲を広げる任意規定の新設です。即ち、義務的規定改定は、

- 1) 理事に会計を含む
- 2) 理事会議事録の作成、及び会員への60日以内の回覧
- 3) 少なくとも①クラブ管理運営、②会員増強、③奉仕プロジェクト、④公共イメー、⑤ロータリー財団の5つの委員会のクラブ内設置
- 4) 出席免除会員の条件に、少なくとも20年以上ロータリアンであることを付加
- 5) Eクラブの名称と定義の廃止
- 6) 2017～18年度以降の人頭分担金引上げ額を現在の年間USD1からUSD4に変更
- 7) 職業分類は残すものの、会員身分の条件緩和
- 8) ローターアクターとロータリアンの二重登録可能
- 9) 年会費の徴収義務は残ったが、入会金の徴収義務は廃止です。

これらは本年7月1日以降遵守しなければならない新規定ですが、この中で、会員身分の条件緩和、及びローターアクターとロータリアンの二重会員可能は、規定として排除できないものの、新入会員の選考にあたり、別の理由で職業経験の無い人、また、ローターアクターの加入を排除することが可能です。

そして、例外規定として新たに導入された

- 1) 例会は最低月2回開催すれば良い。
- 2) 従来の会合型クラブの一部例会のオンライン化可能
- 3) 祝祭日がある週の例会は休会に出来る

等を採用するか否かは、クラブの裁量であり、徴収義務が廃止された入会金を含め、クラブ細則でいかようにも決めることが可能であると同時に、従前の運用形態を継続することも可能です。

また、会合規定で例会のオンライン化が認められているため、名称は別にして E クラブの設立が引き続き可能です。

しかし、逆に言うと、これら緩和された規定に基づき、

①入会金無料、②例会は月2回、③例会の1部のオンライン化、④祝祭日のある週の例会休会、⑤職業経験の無い人も会員にする、⑥ローターアクターも会員にする等のクラブが出現する可能性があります。

ご案内の通り、各クラブは RI の管轄下であり、地区の管轄下にはないため、私、または地区は、皆さんのクラブの運営形態について助言はできても、指導・指図することは出来ない仕組みになっています。従って、地区として皆さんに統一した運営基準を提示・指図することは出来ません。

従って、地区より各クラブに8月15日付でご案内した和訳「国際ロータリー定款」、「国際ロータリー細則」、「標準ロータリー定款」の内容をしっかりと確認し、標準ロータリークラブ定款で定められた規定の中で、クラブがどのような運営形態を採るかを会員間で十分に話し合い、クラブ細則に反映していただく必要があります。

そして、各クラブの運営形態に差異が出た場合、会員のクラブ間移動が発生する可能性が否めないことにも留意して下さい。

長い歴史を誇る我孫子・柏西両クラブは、今後ともロータリーの基本に沿った活動を展開されると思いますが、変化するロータリーの現実を理解する共に、各クラブが採る色々な運営形態を認める寛容さ、広い心を持って今後の活動に取組んでいただくようお願いします。

以上を以って卓話とさせていただきますが、最後に、9月13日に開催する地区大会記念ゴルフ大会（これは既に予約を締め切りましたが）、及び RI 会長代理に「ロータリーの樹」考案者の渡辺好政元 RI 理事をお招きして9月24・25日に成田市で開催する地区大会（2日目の記念講演は、日曜日朝の TV 番組サンデーモーニングでおなじみの日本総研会長寺島実郎氏による「世界情勢と日本経済の将来展望」）の紹介、及び多数の皆様参加をお願いして、話を終わります。

どうもありがとうございました。

合同クラブ協議会

増谷テーブルでございます。

質問でございますけれども、会員増強について多く出ました。入会して頂きたい人のリストアップをする事から始まりますが、個人情報としてロータリーに上がってくるわけです。その名簿を中心に、どのように入会してもらおうか情報交換をするわけですが、例えばその方が問題がある方であった時に、話し合った人に漏れてしまう、情報が伝わってしまう事もあるであろうと。また今の若い人は個人情報についてシビアであるという事が問題にあります。そういう事を踏まえて会員増強をするのに、うまい手立てはないのかなと言ったことが出ました。

また、ライオンズクラブ、ロータリークラブは柏はけっこう多いのですが、両方見て入会する方は少ないと思います。最初に誘われた所で入会してしまうというのが現状だと思います。それを青木ガバナーが言われました通り、その方を知っている方が何人いるか、知っている方をいろんな角度から入会をさせるようにプッシュしていくのが必要かなと思っております。

西ロータリーも馬場年度で初回の役員交代式で早速1名入って頂きました。この方も私がスポンサーをしたんですけども、1年がかりでやっと入って頂きました。しかし理解して頂くのは難しい部分がありまして、お昼に現場に出ている方が着替えて出るという事は、半日時間を束縛してしまうと言われた時に、どのように納得して頂けるように話していかも懸念した所がありました。このテーブルはこのように会員拡大について話し合いました。

また、2輪の会も今33名まで会員が上がりまして、その中

で以前ロータリーのメンバーでしたという方がいらして、その方も2輪車ができるならまた入会してみようかという事で、拡大につながっているような気が致します。そのように野球や2輪車、様々なスポーツや分野を通じて、入会をして貰うのも大事かという話をしました。

まともませんが、以上の事を考慮して、質問に答えて頂ければと思います。

青木ガバナー

最初のどういう方をリストアップ事は大事だと思います。どういうアプローチをしていくかと事で、知ってる方を通じてやるのがいいと思います。私ども成田には成田ロータリークラブと成田コスモポリタンロータリークラブと2つございまして、成田ロータリークラブは非常にロータリーの事に熱心で、卓話の時間は皆でテーマを協議するという事をやっておられます。我々の方は仲良しクラブで、仲の良い方が優先します。私の方は1業種5社ですけれども、内規では1業種1社であります。ただし仲の良い人は業種を広げて、例えばホテルについては空港ホテル、都市ホテル、シティホテルと3人います。気に入らない人は職種を広げないで入れません。また現実にあるんですけど、ある方がロータリーに入りたいという方がおられるケースでも、たまたま職業上のバッティングがありまして、どうしてもダメだという会員がおりまして、うちのクラブに入りたいんですけど入れない。その方に成田ロータリークラブに入ったらどうですかと言うと、あちらは硬っ苦しいから嫌だという事でその方は入らない。さっ

きの話でライオンズクラブとロータリークラブの両方から誘われて、困って両方入らないという方もおられます。そういう方にどのように入って頂くかというのは、皆さんの努力と言うか、入会する事によってどのようなメリットや良いことがあるかをご案内して頂くのかいいかと思います。

それから昼間働いている方はうちのクラブも多いんですけども、決してネクタイして正装しなければ例会に出席できないわけではないです。アメリカのロータリークラブに行きますと皆フランクです。私共のクラブでも新入会員用の内規を作ってますが、その中に服装は自由ですが、例会はホテルで行っているの、ホテルに入るのに見苦しい格好は勘弁して頂きたい、という事が書いてあります。別に作業着でもきちっとしていれば例会に出て頂いても悪いことではないと思います。

金本さん

私共のテーブルは、今このロータリーが方向性が見えず、何故規定審議等の変更を急ぐのか、来週当クラブは規定審議会の決定を受けて、入会金の10万円の削除する事を臨時総会を上程する訳ですが、クラブ運営に大幅な柔軟性を認めるような方向性が出てきたのは、どのような経緯で決まったかを教えて頂ければと思います。

青木ガバナー

ロータリーというのは職業奉仕から始まって、日本では1920年に発足した時に大企業と言うか、名門の方で東京ロータリークラブというのができて、それが残っているのか、職業奉仕に重きを置いて、どちらかと言うと精神的なロータリーを支柱に考えています。世界的には奉仕という事で、色々な事を人にやろうという方が強くなっています。日本の職業奉仕というのは職業を通じて、世の中に倫理観を高めていこうという事ですけども、世界的な職業奉仕は職業でお金を儲けて、そのお金で人の役に立とうと、これだけ考え方が違ってきます。その中で、3年くらい前にロータリーが会員数を130万人にしましよという事でやっていますけども、残念ながら122~3万人で留まっています。2002年までは伸びていたんですが、そこから横ばいで、ただしブラジルやインドは伸びているんですが、日本やアメリカは減っており、結果的には横ばいになっています。ライオンズクラブは130万人になっていると聞いています。

そういう事で、奉仕を精神的な奉仕から、金銭的な奉仕になると、会員を増やさなければならぬ。いかに会員を増やすかと言う事になります。しかし日本のように、それはちょっと違うんじゃないかという考え方もありますので、完全に規則を変えるのではなく、任意規定と言うか、自由裁量権という形でやっていきたいという事です。会員が維持できるクラブは、自ずと運営を変えて違う方針を取るべきだと思います。それで入会金を廃止するという話ですが、ロータリーの友6月号に間違った記事が出て、入会金が無くなりましたという時に、多くのクラブが金銭的、財政的に入会金が無ければ厳しい、入会金という

名前が無くなったのなら、賛助金という名前にすればいいじゃないかと話も出ましたが、実際は違いまして、入会金も取れます。これまで24、5クラブを回しまして、2つのクラブが例会を月2回にすると規定を変え、2つのクラブが例会日が祝日なら休会にする、2つのクラブが入会金を無くす。これらが本当にいいのかと言うと、1年間やってみて、本当に効果があったかどうか、そうでなければ元に戻すという事もありだと思えます。いろいろな事をおやりになって、1年毎に直すという事をやるべきじゃないかと私は思います。

勝田テーブルです。

私たちはRIで決められた決定事項については従うべきだという事が話されました。それから、Eクラブについて、実際に2790地区では、Eクラブがあるんでしょうかという質問と、もしある場合は活動について、何人くらいの人数でどのように活動しているかをお聞きしたいです。また、せっかく東京でオリンピックをやるのですから、以前のオリンピックでは東京ロータリークラブが聖火台を寄贈したという事です。千葉県でも2会場で競技をやるそうなので、ロータリークラブでも何か関わることを計画されているのでしょうか。せっかく東京でオリンピックをやるのですから、ロータリーでもイメージアップや広報に乗っかっていってもいいのではないかという意見が出されました。

青木ガバナー

現在2790地区ではEクラブはございません。ただ動きがあります。日本では11クラブあります。これに加えて日本には国際ロータリーの3つのゾーンがありますが、東京ではグアムを管轄してまして、そこにEクラブがあります。また大阪では1年前にEクラブの会長さんが地区のガバナーになられたという事もあるようです。

またオリンピックの話ですけれども、日本初の東京ロータリークラブができたのが1920年、これが2020年に100周年を迎えます。そこで日本のロータリー100周年という事でオリンピックに合わせてやろうという事で、委員会が作られて検討されており、その中でオリンピックの事も検討されると思います。当地区ではまだ何も検討してはませんが、これらの流れの中で何か考えて行く事になりますので、是非ご提案をお願いします。

松本でございます。

まず入会金につきまして、当クラブでは次週0円にするという議題が通ると思いますが、我孫子クラブさんの方では既に6、7年前から毎年、年度ごとに理事会でサービスにするか理事会で議論されているという事を聞いてびっくりしました。先を行っているなと思いました。

それから食事代はいくらぐらいでやっているかとか、家族例会の開催頻度や、第5週目は夜間例会という形で家族例会をしているとか、普段なかなか知り得ないような情報交換を行えま

した。そこで1つ質問がありまして、入会金についてですが、名目を変えてやっていこうというクラブの現状を教えてくださいと思います。

青木ガバナー

以前に入会金を取ってはいけないというミスリーディングな記事が出たために、今まで1クラブの細則に名称を変えた所があります。しかし申しました通り名称を変える必要は無く、従来通り入会金という形で結構でございます。多くのクラブが運営費の中に入会金を見込んでまして、それを無くす事に戸惑っており、入会金がなくなるのは困ると当初は言われていたんですが、維持できているという事になって、特に問題は無いという事になっています。従来から金額は各クラブの問題ですから、取らなければならないという規則であっても1円でもよかったわけですし、色々なやり方があったかと思えます。

また食事代も各クラブによって色々ありまして、例えば私共はホテルと色々折衝しまして、40人保証、45人まではホテルが対応してくれまして、これ以上はホテルのレストランにお願いしています。これが保証が10人という事だと相手も厳しいと思いますが、30、40くらいだとホテルも受け入れて頂けます。またあるクラブではゴルフ場で例会を行ってまして、ゴルフ場のレストランではいくらでも数を変えられるとか、ゴルフ場でビュッフェの日によってまして、食べた人だけお金を払うという事を行っています。日本では95%のクラブが例会を昼に行っていますが、外国では15%くらいしかなくて、朝とか夕方とか、食事もお金を払うとか、色々なやり方がありますので、状況に合わせてお考え頂けたらと思います。ただロータリーに入っているからにはたまには良い食事を食べたいからとホテルでやっている所もあれば、ホカ弁でいいという所もあると思いますので、皆様でお考え頂ければと思います。また第5例会を夜間で行っている所は多いと思います。

森市です。

このテーブルはガバナー公式訪問とは何ぞやという事から、クラブ協議会等の内容についての説明をしてからの、規定審議会、地区行事参加の減少について、会員増強、退会防止について、その他について調べました。そして地区行事とクラブ行事の参加の減少についてを話しました。

私たちは去年も老人ホーム、幼稚園、大堀川清掃、献血、ネパール支援、柏まつり、手賀沼エコマラソン、たくさん行事をしましたが、参加する人数はいつも変わらず、それについてこのテーブルでは奉仕活動のマンネリ化、少しずつ内容や場所を変えるなどの対応。2番目に委員会事業の準備期間が短いという事、そして会員で作上げていくということ。会議等の時間をたくさん持って有意義な奉仕活動にする事。不参加者へのペナルティを頂くという事。それと会員の個々の関心が少ないという事で、もう少し委員長が事業についての説明をして頂くという事を話しました。ガバナーにはガバナーの委員長として、

直前ガバナー、ガバナーエレクト、ガバナーノミニ、地区の幹部等で構成する2790地区の戦略計画を教えてください。

青木ガバナー

まず公式訪問とは何かという事ですが、従来は皆さんの活動計画や活動目標をご説明頂くというのが主だったのですが、クラブの違いがあるという事から全てを伺っても私から強制はできませんので、それよりは皆さんの考えや行動、悩みなどを伺うという場所であって、私が指導をする身分でもないですし、行うわけでもありません。という次第で、年の始めに皆さんと話をさせて頂くというものです。また1回である必要もないので、何度でも呼ばれば伺いますので、私がお手伝いできる事であれば伺いたいと思います。

いずれにせよ私も地区と言いましても、全ての行動を把握しているわけではありませぬので、共に確認して考えて行く場だと考えて頂ければと思います。

次に行事の参加減少につきましては、先ほどの会長さんとの面談でも出たのですが、参加する年代に差があるという話も伺いました。例えば成田RCという熱心に活動を研究しているクラブでは、各委員長はベテランで、ベテランが仕切ると行事ができる。対してうちのクラブでは若い人を委員長にしています。何故かという責任感を持ってもらう、例えば一番出席率の悪い人を出席委員長にする。どっちが良いとは言えませんが色々なやり方があるわけですね。例えば皆さん新しい方が委員長になれば、今までのやり方はおかしいじゃないかという事が出てくると思います。そこで考えて、様々なやり方を模索するのが大事だと思いますし、単年度というのはいい所と悪い所がありまして、しがらみを切って新しいことをできるのが単年度制であると同時に、1年間では何もできずに終わってしまう事もあります。ただ会員の皆さんはずっと会員なんですから、多くの人が参加できるように、いろいろ変革して、前進していくのが大事だと思いますので、是非色々な提言をして頂いて、皆が参画すれば必ず良いクラブになると思いますので、是非宜しくお願いします。

また、本年度の地区戦略計画委員会は、未だ活動を開始しておらず、検討項目は未定です。昨年度は、地区に戦略協議会、および地区計画委員会があり、ガバナー事務所の継続、および分区再編等について、直前ガバナー、ガバナー、ガバナーエレクト、ガバナーノミニ及び関係委員の間で検討が行われましたが、事務所についてはガバナーの専権事項であり、分区再編については、具体化前に前年度が終了しました。

総評

今日は色々な話をさせて頂きありがとうございました。柏西さんの方はある程度できあがっているという事で、今までのまま維持して頂ければいいと思いますし、今のものを少しでも良くする努力は必要だろうと思いますので、そういう取り組みをして頂ければと思います。

我孫子さんの方は一番の問題は会員の問題だと思います。

一般的に言いますとできれば30人いると、人数的にも財政的にも望ましい姿ですので、すぐにはと言えないと思いますが、努力して頂きたい。そうすれば結果的に奉仕活動等も積極的に動けるのではないかと思いますので、それを目指して頑張っ
て頂きたいと思います。いずれにしても、柏西さんの方も退会される方が結構おられるという事ですら、退会者を出さないためには、皆さんの例会の内容の充実ですとか、仲間意識で

あるとかを重視して頂ければと思います。地区としては色々な形でお手伝いをさせて頂くつもりですので、是非1年後に各クラブが発展して、会員の皆さんがロータリアンになって良かったなと思えるように頑張っていきたいと、そうすれば地区もみんながハッピーになると思いますので、これは皆さんにかかっていますので、是非宜しくお願いしたいと思います。今日はありがとうございました。



ニコニコ BOXありがとう！

- ★ 本人誕生日
田代、菊池 会員
- ★ パートナー誕生日
金子、鈴木(子)、浅野、中村(博) 会員
- ★ 結婚記念日
菊池 会員
- ★ (^^)♪
お孫様が大学認定留学生としてフランスに旅立ちました 鈴木健吾会員
ガバナー公式訪問ありがとうございます 馬場会長
欠席ごめん 根来会員

ビジター

- 荻原 康宏 (成田コスモポリタン) 様
- 松丸 隆一 (柏) 様
- 小名子 正彬 (柏) 様
- 勝田 秀一 (柏) 様

出席報告

会員数	64名
欠席者	11名
市川、景山、ゲイビ、後藤、小林(正)、東海林、杉山、野寄、箕輪、山崎 会員	
出席率	82.81%

次回の例会は9月9日(金)通常例会です。
クラブ会報委員/安田 勝紀・浅野 肇・箕輪 満・市川 利一郎
卓話原稿は kwrc.photo@gmail.com までお送りください。

欠席報告は、水曜日の正午まで
※食事の無駄をなくす為に協力して下さい。
クレストホテル(営業課) 04-7146-1122まで